

第1回練馬光が丘病院運営連絡協議会概要

□日 時 平成24年10月30日(火)

□場 所 練馬光が丘病院 会議室

□出席者 委員14名、事務局

□議事の概要

1 管理者挨拶

藤来管理者より、地域の住民、医療機関、練馬区医師会、練馬区議会議員、行政の方々をはじめとする関係各位の支援により開院でき、今日まで運営してこられたことに関する感謝の意を述べ、本日の運営連絡協議会では助言及び忌憚なき意見をいただけるよう、委員にお願いした。

2 運営連絡協議会について

(説明)

練馬区委員及び事務局より、運営連絡協議会の位置づけと目的について、練馬区と地域医療振興協会で締結した基本協定書(資料1)及び細目協定(資料2)に基づき設置されていること、病院の状況を説明し、練馬区民の要望を取り入れるため、練馬区民代表、練馬区議会議員、医療関係者、学識経験者、練馬区職員、病院職員により構成されること等を説明した。

3 運営状況について

(説明)

藤来管理者より、資料(練馬光が丘病院概要説明)に沿って、4つの重点医療(救急、小児、周産期、災害時)への取り組み、職員採用等に関する現況と今後の計画について説明した。

(質疑)

「地域医療振興協会のホームページを見たが、協会が掲げている重点医療は、今説明にあった練馬光が丘病院の重点医療と同じになっている。練馬区の特性を踏まえるという観点から、どのように考えているのか」

(回答；藤来管理者)

「4つの重点医療は、練馬区による公募要項に定められたものだが、実際のところ、救急医療、小児医療、周産期医療、災害時医療の4つは、日本全国どこでも重要となっており、この地域でも同様の状況と理解している」

4 利用状況について

(説明)

事務局より、資料4～8に沿って、患者数、紹介の状況について説明した。

(質疑)

「4つの重点医療のうちの1つである小児科の数字はお持ちではないか。以前、日大光が丘病院の運営協議会では、病院別の救急受入の数字が載っている資料が出ていた。このような資料があると、次世代の宝物をどのように取り扱っているかが良くわかる」

(回答；練馬区委員)

「練馬区から資料を提供し、次回以降は病院から出せるようにする」

(質疑)

「周産期医療に関しても、以前はセミオープンシステムや診療所との連携に関するデータがあった。地域医療に重要な点なので、今回はデータと活動内容が分かる説明を付けていただきたい」

(回答；藤来管理者)

「今回は準備させていただく」

(質疑)

「来年4月には全病棟を稼働させるとのことだが、稼働率はどのくらいを見込んでいるか」

(回答；藤来管理者)

「全病棟オープンして暫くの間は多くても220から230程度と予想している」

(質疑)

「病床の稼働がまだまだの状況だが、病院に関する周知がまだ十分にされていないとの印象を受ける。理解してもらう努力が必要だと思う」

(回答；藤来管理者)

「住民の方、近隣医療機関の方への情報提供が重要と考えている。病院の広報誌作成、近隣医療機関の方々を対象とした連携会議開催等に取り組んでいるが、今後も出来ることをやっていきたい」

5 地域活動について

(説明)

事務局より、資料9に沿って、病院が地域において実施している健康講座、地域連携会議、防災訓練等について説明した。

(質疑)

「地域の人たちが何を考え、何を期待しているかお話したい。3月31日深夜0時を回ってから準備にかかり、4月2日に全く問題なく開院できたことは大変なこと。この席を借りて御礼申し上げたい。そして住民にとって最も大事なものは、日大光が丘病院との比較はやめなさいということ。御病院が自らの理想を掲げ、目標に向かって一步一步努力することである。今日の話聞いて、私の期待以上に努力を積み重ねてこられたことが分かった。

9月1日の防災の日には訓練に参加し、10月20日の都営住宅第三アパートにおける川上病院長の講演も聞いた。やはり地域に医療は欠かせない。その地域医療は、医療当事者とそれを支える地域住民によってもたらされるものであり、日大光が丘病院と比較しても意味がない。私ども地域住民は、これからも応援団として、病院が計画される行事等には積極的に参加していきたい」

(回答；藤来管理者)

「激励ありがとうございます。このお言葉に応えられるよう精一杯努力していきたい」

6 改修工事について

(説明)

事務局より、資料10に沿って、練馬区の全面的支援により、診療サービス向上等を目的とした改修工事と既存設備老朽化に伴う更新工事を実施していることを説明した。

(質疑)

「日大光が丘病院時代に見学した時、大変古くて狭いところでご苦労されており、頭の下がる思いだった。中でもカルテがスペースを取っていた。何年かするとあのような状態になるのか。あるいは電子カルテに切り替えられるのか伺いたい」

(回答；藤来管理者)

「現在は電子カルテを稼働させており、医療情報はコンピューターの中にしまわれている。患者さんの承諾書といったサインが必要なものは紙で残るが、量的にはそれほどにはならない」

7 その他（全般に関する質問、意見）

「主婦代表としての感想を述べる。練馬区報の中に新しくなった練馬光が丘病院の紹介記事があり、地域連携相談センターのところで『どこに相談すれば良いのかわからない時に相談してください』とあった。この一文に非常に心強いものを覚えた。先進医療技術にも期待するが、MSW、広報担当の方にも頑張ってもらいたい」

「119番通報の仕組みは、まず大手町に連絡が繋がり、そこから近い所を走っている救急車を呼び出すということになっている。この地域から通報したからといって必ずしも光が丘消防署の救急車が来るとは限らない。従って、消防隊との連携、情報交換を密にし、どこの消防署の救急車が来ても同じような返答対応ができるよう、日頃から連絡体制を作っていただきたい」